



# 連携空便り



発行日：24年4月

取手北相馬保健医療センター

医師会病院

—医療連携空便り—

—第26号—



布施弁天 加藤医院 加藤一雄先生撮影

## 院外処方に関するお知らせ

春暖の候、諸先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さてこの度、以前からの監督官庁の勧告、当院薬剤部の機能強化等の理由により6月1日より外来処方を、全面的に院外処方とすることになりましたのでお知らせいたします。

ご存知のように、当院周辺は公用地のため近くに調剤薬局を設立されることは困難です。患者様には多少のご不自由をおかけしますが、近隣の調剤薬局リストを作成しご案内させていただき、筑波大学や日本大学の方式を考えております。つきましては先生方のお近くの調剤薬局にもお世話になることと思っておりますが、その際は宜しくお願いいたします。

これを機に、先生方より紹介いただいた入院患者様に対し、服薬指導や無菌調剤等薬剤部の業務の一層の充実を図る所存ですので、併せてご指導ご協力の程宜しく申し上げます。

取手北相馬保健医療センター医師会病院

院長 鈴木 武樹

# トピックス

今号でご紹介させていただきます成人先天性心疾患については、循環器外科金本真也先生が専門となります。このような患者さんからのご相談があるようでしたら、ぜひ当院循環器へご紹介させていただきますようお願いいたします。

循環器病センター長 渡邊 寛

## 成人先天性心疾患について

いつも医師会病院にご支援いただき誠にありがとうございます。

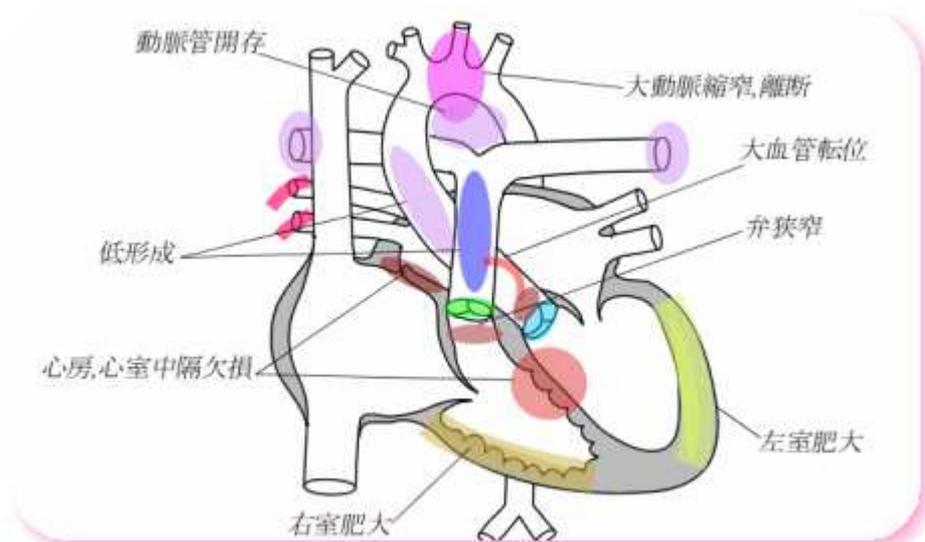
筑波大学循環器外科の金本真也です。医師会病院で毎週水曜日午後の循環器外来を担当しております。今回は紙面をお借りして先天性心疾患の現状、特に成人先天性心疾患についてご紹介させていただきます。

生まれてくる赤ちゃんの 100 人に 1 人は何らかの心臓の病気、すなわち先天性心疾患 (Congenital Heart Disease ; CHD) を持っています。幸いな事に治療成績は年々向上しており、先天性心疾患を持つ赤ちゃんの 95% は成長して成人となります。

成人に到達した先天性心疾患を成人先天性心疾患 (Adult Congenital Heart Disease ; ACHD) と呼んでいます。国内には約 40 万人の成人先天性心疾患の方々が存在すると推測されていますが、2020 年頃には成人先天性心疾患の方々が小児先天性心疾患より遥かに多くなると予想されています。



多くの先天性心疾患の方々は小児期に何らかの手術を受けていますが、成人先天性心疾患では、一般成人が罹患する頻度の高い後発性心疾患 (高血圧、虚血性心疾患) に加えて、手術後の遺残病変や続発症等、先天性心疾患に特有な症状が出現する可能性があります。また、成人先天性心疾患の方々の妊娠や出産は、疾患によっては特別な配慮を必要とする場合があります。



いままで、先天性心疾患には小児科の医師が中心となって診療にあたっていました。患者数の増加と共に、成人先天性心疾患を専門に診察する医療機関の必要性が認識されるようになってきました。茨城県内では 2011 年に筑波大学附属病院に成人先天性心疾患外来が開設されました。成人先天性心疾患の方々の診察は、成人診療の知識に加え、先天性心疾患に関する専門知識が要求されます。筑波大学附属病院では、小児科、循環器科、循環器外科、産婦人科等各診療科が協力して成人先天性心疾患の方々の診療を行っています。

当院では、成人先天性心疾患の患者様の状況に応じて、このような専門施設と連携をとりつつ診療を行っていきたいと考えています。

- ・小さいときに心臓が悪いと言われた。最近、調子が良くない。
- ・子供の頃に心臓の手術を受けたが、最近医療機関を受診していない。
- ・昔は心臓病で小児科に通院していたが、成人になったら行きづらくなり何となく通院しなくなった。
- ・子供の頃に受けた心臓病の病名や治療内容を知りたい。
- ・最近転居してきたが、先天性心疾患の専門病院を紹介してほしい。

このような患者様はいらっしゃいませんか？もしかしたら成人先天性心疾患の方かもしれません。是非一度ご相談下さい。



連絡先；取手北相馬保健医療センター医師会病院

副院長 循環器病センター長 渡邊 寛

循環器外来 金本 真也

(毎週水曜日 13:00 - 15:30)



## 常勤医師のおしらせ

中島 佳子（なかじま よしこ）先生  
筑波大学医学部卒業 整形外科  
診察日時 月・水・金曜日午前



入職日 平成24年4月1日

中島佳子と申します。出身は長野県松本市、大学時代からの茨城県民です。筑波大学を卒業後、同大学整形外科に所属し、北はひたちなか、南は神奈川県相模原、主に茨城県内で勤務してきました。だいぶ茨城県の地理にも精通(?)してきましたが、取手地域は初めての勤務です。また、直近4年間は大学院に行っており、少し臨床と離れておりましたのでややとまどいがありますが、少しでも早く地域の皆様のお役に立てるよう努力していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

高山由理子（たかやま ゆりこ）先生  
日本大学医学部卒業 消化器外科  
診察日時 金曜日午前



入職日 平成24年4月1日

はじめまして。日本大学消化器外科5年目の高山由理子と申します。出身は石川県、高校卒業後東京に出、その後東京で働いておりましたが今回初めて茨城県に出向いたしました。“常に医者であれ”という恩師の言葉を胸に抱き日々邁進していけたらなと思い、過ごしております。外科医として多くを学び、一つでも多く皆様の力になりたいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。



## 地域連携システム稼動について

「地域診療情報連携推進費補助金事業」（厚生労働省による）により、地域医療の強化として「地域連携システム」を準備してまいりました。昨年度の東日本大震災の影響で稼動が延期になっておりましたが、取手医師会コンピューター委員会の先生方のご協力により、試験稼動を行っております。

概要としましては、当院の外来診療ならびに検査（単純CT 腹部エコー MRI）を直接診療所の端末から予約することが可能となります。また、ご紹介いただいた患者さまが入院した場合は、診療所の端末からご紹介いただいた患者さまのカルテ閲覧が可能となります。

今後、実用性の高い「地域連携システム」の稼動を目指し、多くの先生方にご利用していただくことにより、病診連携の強化に繋げて参ります。

「地域連携システム」導入のご希望やご質問等はシステム管理室へお問い合わせください。



システム管理室 武笠 綾

## 編集後記

桜の花も咲きそろい、心躍る季節となりました。  
病院敷地内も鮮やかに、たくさんの桜が咲いています。  
あの桜色は私たちに何ともいえない癒しを与えてくれ、桜並木の側を歩くだけでも本当に満ち足りた気分になります。  
また、病院の中を見回すとすこし緊張した新人職員の、がんばっている姿が見受けられます。

さあ！新年度が始まりました。  
慌ただしい時期ですが無理なさらないように、春を元気にお過ごしください。

## 桜が満開です



平成24年4月9日医師会病院駐車場に於いて撮影

編集：医療連携室

TEL:0297-78-6183(直通) TEL:0297-78-6111(代表)  
FAX:0297-78-6184